

2025/1/7 第54号

2025年 新年のごあいさつ
新潟市名誉市民章贈呈式と受章祝賀会を開催
佐野藤三郎氏 新潟市名誉市民章 受章祝賀会
「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト2024 開催報告

2025年（令和7年） 新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

皆さまには幸福で飛躍の年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も当財団の活動と運営にご理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

昨年11月は食の新潟国際賞も第8回目を迎え、表彰式に多くの皆様の御出席をいただき無事成功裡に開催することができました。

また悲願でもあった食の新潟国際賞の冠である佐野藤三郎氏が73年ぶりに新潟市名誉市民章を受章され、佐野家をはじめ佐野さんを慕う多くの皆様の御出席のもと祝賀会が盛大に開催され、喜びを分かち合うことができました。

今回の受章は、当財団の佐野氏のマンガ制作、テレビや新聞による特別番組や特集記事、記念シンポジウムなどの顕彰活動が大きく貢献したものであり、会員の皆様をはじめ関係する皆様の御協力に感謝申し上げます。

また、第3回目を迎えた「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテストも県内の大学・専門学校から21チームが参加し、若者らしい夢や斬新な提言が発表されました。引き続き、新潟の食産業や農業の未来を担う人財育成事業として開催いたします。

2025年は第9回食の新潟国際賞の推薦募集活動が行われます。

募集活動を通じて国内外からより多くの推薦応募を頂くとともに、国際賞を認知いただく好機として、広報活動にも積極的に取り組んでまいります。

また、佐野氏の顕彰事業では、名誉市民となった佐野氏の業績をより多くの子供たちに伝える事業も実施したいと考えております。

そして、当財団の幅広いネットワークを生かし、食と農に関する最新情報を提供するセミナーや講演会も開催いたします。

今年も「食と生命」をテーマに「世界が抱える食の問題に向き合い、命の尊厳を守る、それが、私たちの願いです」を掲げ事業活動を続けてまいります。

皆様には変わらぬにご支援をお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。

新潟市名誉市民章贈呈式と受章祝賀会を開催 2024年10月25日

新潟市名誉市民章贈呈式 新潟市白山会館



73年ぶり4人めの新潟市名誉市民に決定した佐野藤三郎氏の名誉市民章の贈呈式が2024年10月25日に白山会館で行われました。

新潟市が主催する贈呈式には佐野藤三郎氏のご子息の佐野正人氏をはじめとする佐野家の方々と、佐野藤三郎顕彰委員会の池田弘会長をはじめとする役員など合わせて40名が出席し、厳かにも華やかな雰囲気の中で式典は執り行われました。

贈呈式典では、新潟市名誉市民選考委員会委員長の伊藤充氏が、佐野氏を名誉市民と決定した理由について説明し、続いて新潟市議会の皆川英二議長が祝辞を述べました。そして、新潟市名誉市民の表彰状が野島晶子副市長から、名誉市民章が井崎規之副市長から贈呈されました。受け取った佐野正人氏は、改めて父、藤三郎氏の多大な業績を実感し喜びを新たにしていました。

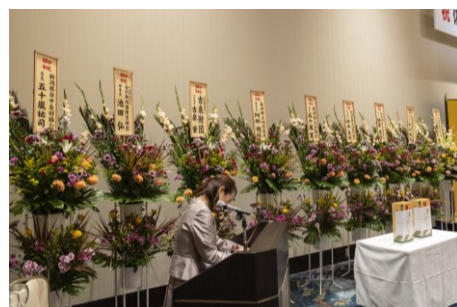


佐野藤三郎氏 新潟市名誉市民章 受章祝賀会 2024年10月25日



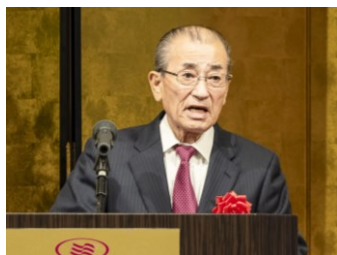
受章祝賀会は10月25日の夜、新潟市のANAクラウンプラザホテルで開かれ、佐野氏とゆかりのあった方々を中心に市民154人が出席して賑やかに開催されました。

祝賀会では、主催した佐野藤三郎顕彰委員会の池田弘会長があいさつし、来賓の新潟県の花角英世知事(代理:笠島公一副知事)、駐新潟中国総領事館の崔 為磊総領事、新潟市の中原八一市長(代理:野島晶子副市長)、新潟市議会の皆川英二議長らがお祝いの言葉を述べ、財団特別顧問・ファウンダーの古泉 肇氏の発声で乾杯をしました。出席した人々は、改めて佐野藤三郎氏の業績を偲び、喜びを新たにしていました。



祝賀会のステージには、受章した名誉市民の表彰状と市民章が飾られ。はじめに、佐野藤三郎氏の軌跡と業績をまとめた動画が放映されて、在りし日の佐野藤三郎氏の語る言葉に、参加者は耳を傾けていました。

また、佐野藤三郎氏のホームページも新たに開設され、名誉市民となった佐野氏の人柄や実績を多くの市民に知ってもらうための手段として期待されます。



「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト2024 開催報告

新潟県内の大学等に通う学生を対象に、新潟の農業や食品産業及び関連産業の課題解決と、持続可能な産業として、さらに大きく発展するためのアイデアや画期的な提案を競う、「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテストの決勝大会が11月9日(土)に開催されました。

この大会は、食の新潟国際賞財団が主催し、第3回の今回は21チームの作品応募があり、書類審査を通過した10チームが決勝大会に臨みました。

決勝大会はプレゼン8分、質疑応答5分の制限時間の中で真剣かつ熱のこもった発表を行いました。

審査の結果、最優秀賞(グランプリ)は、「微生物で魚をおいしくする!」を発表した、長岡技術科学大学のFeed & Labチームが獲得。優秀賞(準グランプリ)には、「ライスミルクジェラートを通じて米の消費量を増やす」を提案した新潟食料農業大学のREARICEチームと、「菌活バーガー! ~新潟の新・ご当地グルメをつくろう~」を提案した新潟大学「柿の種」チームが選ばれました。それ以外の7チームには審査委員特別賞と協賛社特別賞が贈られました。



グランプリ	1チーム	賞状、盾、副賞(5万円)、協賛社提供品
準グランプリ	2チーム	賞状、盾、副賞(5万円)、協賛社提供品
審査委員特別賞	1チーム	賞状、副賞(2万円)、協賛社提供品
協賛社特別賞	6チーム	賞状、副賞(2万円)、協賛社提供品

なお、参加全チームには協賛社の商品のセットが贈られました。

米菓やお菓子、パックご飯やおもち、おでん、お米等の食品がぎっしり入っており、学生にはたいへん喜ばれました。

賞	作品名	学校名	チーム名
グランプリ	微生物で魚をおいしくする!	長岡技術科学大学・新潟県立海洋高校	Feed & Lab
準グランプリ	ライスミルクジェラートを通じて米の消費量を増やす	新潟食料農業大学	REARICE
準グランプリ	菌活バーガー! ~新潟の新・ご当地グルメをつくろう~	新潟大学	柿の種
亀田製菓(株)特別賞	"いもジェンヌ"の葉と蔓から考える持続可能産業	新潟大学大学院	いもジェンヌリーフプロジェクト
(株)ブルボン特別賞	新潟県産米粉を使用した生グミの開発:地域資源を活かした新たな挑戦	新潟食料農業大学	Eco Dreamers
一正蒲鉾(株)特別賞	持続可能な食糧供給へ向けた新潟型酵母による代替タンパク質発酵生産の提言	新潟薬科大学大学院	大渡海
サトウ食品(株)特別賞	米粉麺で新潟の農業を救え! ~えこめんプロジェクト~	新潟食料農業大学	Farm to Chopsticks
(株)栗山米菓特別賞	コメ産業に隠れた廃棄問題とデジタルプラットフォームの活用による課題解決:『持続可能な米どころ新潟』へ	新潟県立大学	Food Linc.
(公財)古泉財団特別賞	~植物性タンパク質の加工食品基地にいがた~	新潟薬科大学	食品機能学・食品化学研究室
審査委員特別賞	「越後姫の甘い革命」~新潟県が誇る名産を全国に~	長岡工業高等専門学校	越後姫親衛隊

「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト2024 開催報告

○審査委員長の講評

審査委員長の新潟県農業総合研究所の高野直行所長は、「どの発表も大変堂々としていて、まとめも良かった。プレゼンの説得力で書類審査とは作品の印象がガラリと変わった作品もあった。中には今後ビジネスとして活用できる内容の作品もあった。」とレベルが高かったと講評を語りました。

○交流会

表彰式終了後には、参加した学生とコンテストの実行委員、審査委員の方々とで交流会が行われた。学生から次々と出される質問に、企業の関係者や大学の先生らが答えるなど、参加した学生の積極性が目立つ充実した意見交換会となりました。

○コンテストの実施内容

【テーマ】 自由課題

【書類選考】

2024年9月23日(月・祝) 作品提出締切り 応募21作品

【決勝大会】

2024年11月9日(土) 13:00~18:00

会場：新潟日報メディアシップ 2階 日報ホール

出場：10チーム

決勝大会来場者：87名

○大会スケジュール

3月~4月 県内の大学・専門学校等に広報物を郵送、または直接訪問しエントリーを依頼

3月14日(木) 第1回実行委員会開催(書面会議)

6月21日(金) エントリー締切り(エントリー数31チーム)

6月29日(土) オリエンテーション開催(Web開催)

【内容】

(1) コンテストの開催方法とスケジュールの説明

(2) 実行委員・協賛企業からの期待と激励

講師:協賛企業代表(実行委員)

亀田製菓(株)高橋 肇氏、(株)ブルボン浅野和男氏

(3) セミナー「新潟県の農業と食品産業の歴史と未来」

講師:新潟薬科大学 特任教授 大坪 研一 先生

9月17日(火) 第1回審査委員会会議開催(Web会議)

9月23日(月) 作品提出締切り(応募作品21チーム)

9月26日(木) 書類審査用資料を発送

10月15日(火) 書類審査締切り

10月18日(金) 書類審査結果を各チームに通知

11月9日(土) 決勝大会開催、第2回審査委員会会議開催



主催:公益財団法人 食の新潟国際賞財団

協賛:亀田製菓株式会社、株式会社ブルボン、一正蒲鉾株式会社、サトウ食品株式会社、株式会社栗山米菓、株式会社エイケイ

後援:農林水産省北陸農政局、新潟県、新潟市、(公財)古泉財団、JAグループ新潟、新潟日报社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、FM新潟77.5

● 特別会員

亀田製菓(株)
一正蒲鉾(株)
(株)第四北越銀行
(株)新潟日報社
亀田商工会議所
にいがた22の会
オイシックス・ラ・大地(株)

(株)ブルボン
サトウ食品(株)
(株)栗山米菓
(株)新宣
(株)新潟クボタ
(株)日本食糧新聞社

(学)新潟総合学園
新潟県農業協同組合中央会
亀田郷土地改良区
(株)エイケイ
NST新潟総合テレビ
五十嵐建設工業(株)

● 正会員

新潟県信用組合
(株)第一印刷所
(株)本間組
石本酒造(株)
(株)ミカサ
神山物産(株)
ハセガワ化成工業(株)
藤屋段ボール(株)
(株)タケショー
(株)新潟博報堂
BSN新潟放送
新潟陸運(株)
(株)新潟食品運輸
月島食品工業(株)
(株)ニッポン関東支店
日本甜菜製糖(株)
(株)鳥梅

新潟工科大学産学交流会
(株)キタック
北越工業(株)
丸榮製粉(株)
鍋林(株)ヘルスフーズ事業部
TeNYテレビ新潟放送網
(株)栗田工務店
三和薬品(株)
松田産業(株)
セツツカートン(株)新潟工場
東邦産業(株)
麒麟山酒造(株)
(株)加島屋
(株)日本フードリンク
(株)ディモルギア
UX新潟テレビ21
イカリ消毒(株)

新潟工科大学
(株)日本旅行新潟支店
(株)田中組
(医)愛仁会 亀田第一病院
(株)ひらせいホームセンター
ワタキューセイモア(株) 新潟営業所
(株)エヌエスアイ
(株)トップライズ
(株)ウオシヨク
(株)ヤマダ
(株)新潟国際貿易ターミナル
八海醸造(株)
(株)荏原製作所 北陸支社
(株)せいだ
新潟医療生活協同組合

● 個人会員

古泉 肇	藤島 安之	和田 充彦	高畑 昭文	廣瀬 利雄	山口 勉	高橋 常孝	田村 敏郎
杉本 克己	近藤 鴻	大川 秀雄	大倉 正寿	吉岡 謙一	坂田 武利	門脇 基二	大谷 勝男
佐藤 久栄	阿部 徳威	田中 作一	佐藤 和雄	大沢 一衛	佐藤 勉	大島 千春	野上 敏
渡辺 昭雄	槇坂 文晴	清水 良一	五十嵐 源一	新保 房機	古泉 榮三	佐藤 純	倉嶋 則昭
大越 斎	野口 正晴	酒井 定勝	松本 裕志	當野 篤	高山 利夫	久保田 紳一	河瀬 三千夫
和澄 孝男	五十嵐 修	望月 健三郎	山田 雄治	鈴木 正二	竹石 松次	古泉 幸代	大森 ゆかり
高橋 慶三	阿部 昭一	渡邊 信也	赤塚 義廣	坂井 俊一	鈴木 伸作	佐藤 銀治郎	加藤 寿一
石附 由美子	斎藤 幸広	田辺 俊文	小田 静二	渡邊 徹	栗田 浩	栗田 朋子	阿部 文仁
高尾 茂典	五十嵐 豊	古泉 幸一	加藤 純子	高倉 広利	清水 泰成	阿部 愛子	宮口 澄子
五十嵐 康子	五十嵐 早苗	佐藤 文男	高橋 征男	高橋 克郎	田村 泰生	山崎 尉生	中村 雪絵
村山 浩太郎	稲葉 晋	川崎 千春	秋山 正之	松川 忠史	濱野 剛	小川 善弘	池田 祥護
星野 幸三	糸満 盛人	北垣 大介	小林 哲也	岡田 茂久	遠山 幸男	小野 隆樹	大橋 祐貴
前田 穰	桐原 隆晃	長井 基樹	岸田 良満	中村 健一	小林 宏志	柳澤 敏郎	遠藤 俊介
葉葦 正幸	津島 章彦	舟崎 義朗	小川 陽一	大日方 聡	宮下 好文	坂田 浩一	田中 雅史
藤間 佑輔	品田 卓也	渋谷 政道	村山 雄亮	北爪 文義	近藤 正	高橋 佑	荒井 弘美
重泉 篤史	本間 康弘	中野 克之	原島 徹	最上 正人	石田 勇介	佐藤 正尚	下條 幸二
廣川 正通	小谷 尚志	高橋 道映	田中 弼	佐藤 浩晃	村山 和恵	小林 達	長谷川 久晃
酒井 栄一郎	佐藤 聡	小林 守	阿部 欣也	杉谷 浩一	榊原 由貴	金田 季之	宮島 泰
高崎 俊哉	高橋 裕作	小平 勝志	藤田 正明	池田 一史	宮嶋 一博	小嶋 孝代	駒形 正明
藤井 大三郎	阿部 貴美	大沼 成勝	丸山 智史	岡田 龍	小野 隆樹	田邊 威	高橋 大介
伊藤 雅明	秋堂 春美	長谷川 克弥	山口 穰	田中 湖雄	牧 利幸	伊藤 正弘	本間 春治
早川 重男	樋口 正仁	伊積 豊	小林 稔	吉田 たかし	山本 善政	小島 隆	高橋 昭博
高橋 眞代	峰尾 昌明	大森 武士					